医療機関名

小野薬品工業株式会社

2026年9月作成
XCP-PV300P2609

RMP

エキスコプリを服用の患者さんへ

監修 赤松直樹先生
国際医療福祉大学 医学部
脳神経内科 教授

小野薬品工業株式会社

はじめに

エキスコプリによる治療を始める患者さんやご家族に向けて、エキスコプリの治療を安心して続けていくために大切な内容をご紹介しています。

お薬について正しく理解することは、不安を軽くし、前向きに治療に取り組むうえでとても大切です。
内容についてご不明な点やご心配なことがありましたら、遠慮なく、医師、薬剤師または看護師にご相談ください。

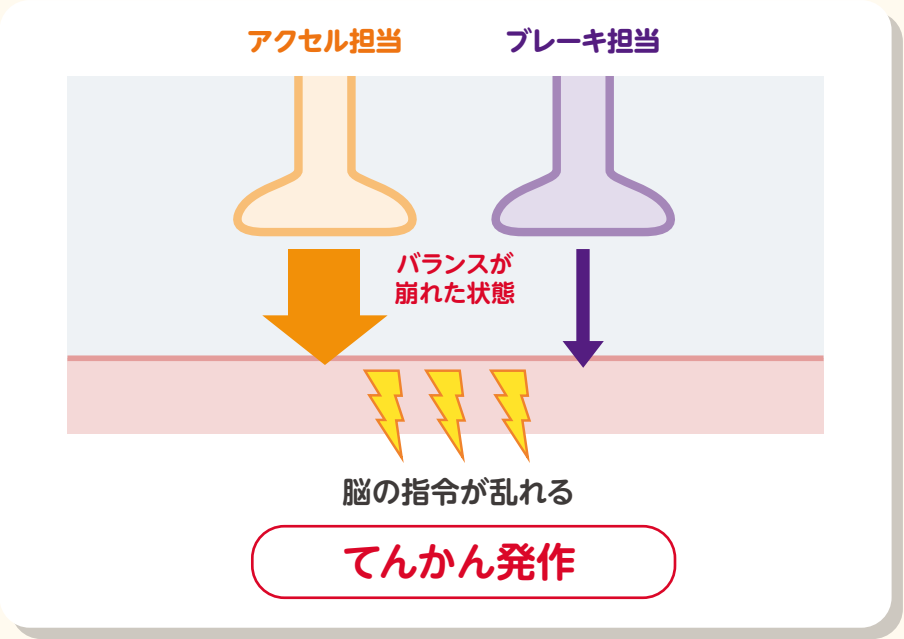
目　次

- エキスコプリについて …… 4
- エキスコプリの服用方法 …… 6
- エキスコプリ服用中の注意点 …… 10
- エキスコプリの副作用 …… 12

エキスコプリについて

てんかん発作が起きるしくみ

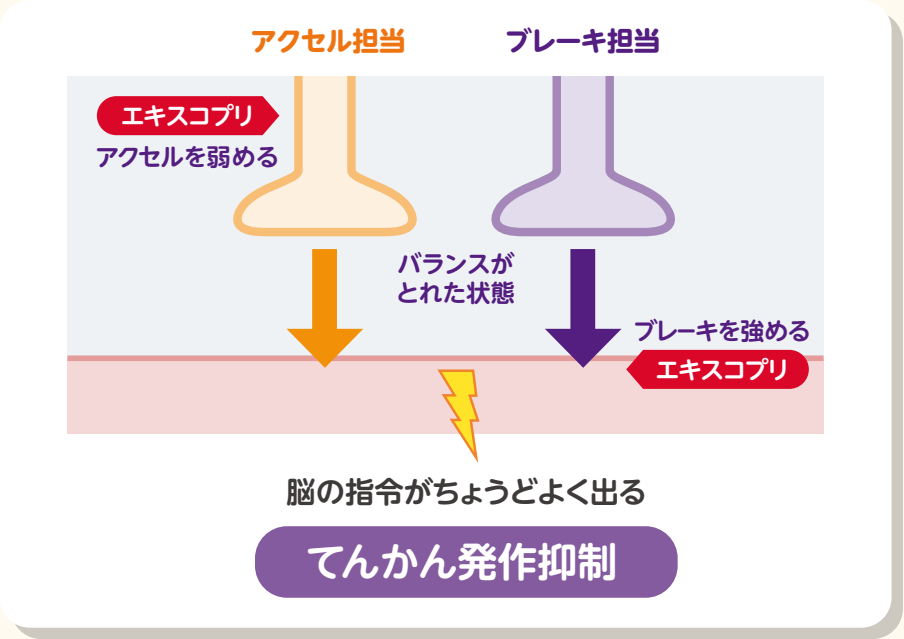
脳の中にはアクセル担当とブレーキ担当の神経細胞があり、この2種類の神経細胞がバランスよくはたらくことで脳の活動を担っています。脳内のアクセルとブレーキのバランスが崩れると脳の指令が乱れて、てんかん発作が起きます。



Shao LR, et al. Children (Basel). 2019;6(2):23.を参考に作成

エキスコプリのはたらき

エキスコプリは、脳内のアクセル担当のはたらきを弱め、ブレーキ担当のはたらきを強め、両方のバランスを調整し、脳の指令がちょうどよく出るようにして、てんかん発作をおさえるお薬です。



- お薬は脳のアクセルやブレーキを調節して、てんかん発作を防ぎます（お薬によって、調節のしかたが違います）。
- お薬を毎日飲んで、アクセルとブレーキのはたらきを調節し続けることが大切です。

エキスコプリの服用方法

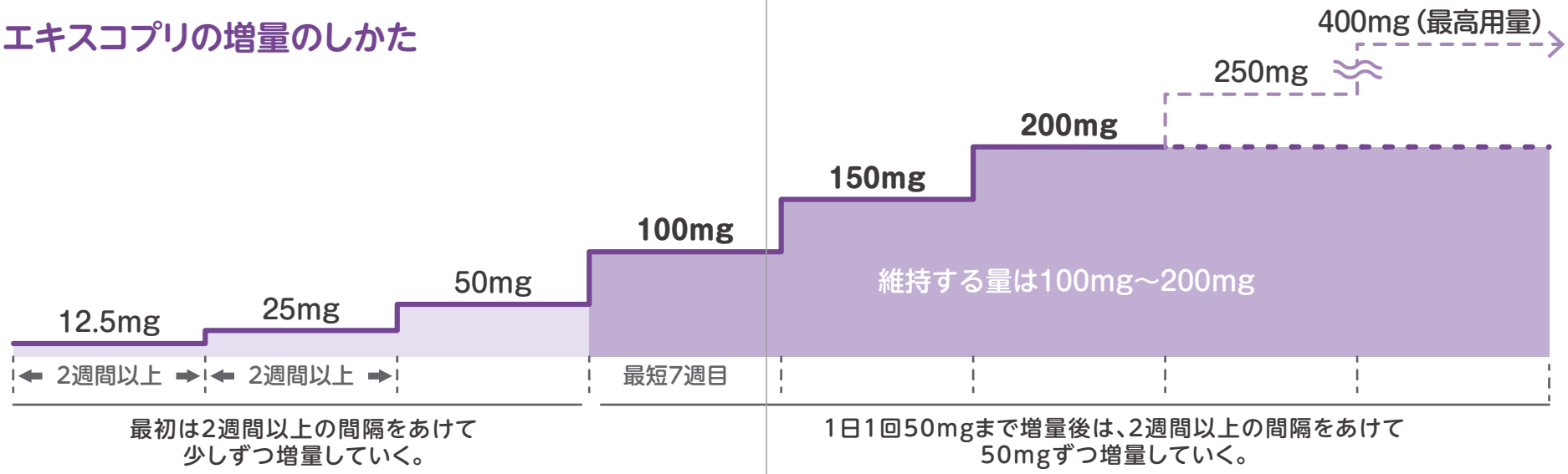
エキスコプリの服用について

通常、1日1回1錠（12.5mg）からはじめて、2週間以上の間隔をあけながら、1日1回25mg、次に1日1回50mgに増量します。
1日1回50mgまで増量後は、2週間以上の間隔をあけて50mgずつ増量し、1日1回100mg～200mgで維持します。また、症状によって1日400mgを超えない範囲で調節します。

エキスコプリ錠の種類

エキスコプリには、12.5mg、50mg、100mg、200mgの錠剤があります。

●エキスコプリの増量のしかた



- お薬の量や服用間隔は、医師が患者さんの症状をみながら調整します。
- 増量期間中は少なくとも1か月に1回を目安に肝機能検査を受けましょう。その後、維持期間中は肝機能障害の症状に応じて定期的に肝機能検査を受けてください。
- 発熱、発疹、リンパ節のはれなどの薬剤性過敏症症候群を疑う症状がみられたらただちに医師、薬剤師または看護師に相談してください。
- お薬の増量中は副作用があらわれやすいので、めまい、眠気、吐き気などの症状がみられたら医師、薬剤師または看護師に相談しましょう。
- また、腎機能や肝機能障害のある方では、お薬の量の調整が必要なことがありますので、必ず、医師の指示どおり服用しましょう。

エキスコプリの服用方法（つづき）

服用にあたっての注意

お薬を飲む時間を決める

エキスコプリは食事の時間と関係なく服用できます。服用時間を決めて、毎日同じ時間帯に服用するようにしてください。

お薬を飲み忘れた場合

すぐに飲みましょう。ただし、次の服用時間が近い場合は医師の指示に従いましょう。

服用し忘れた場合でも1度に2回分を服用しないでください。

誤って多く服用してしまった場合

すみやかに医師、薬剤師または看護師に連絡してください。
副作用が強くあらわれるおそれがあります。

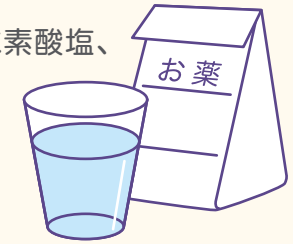
- ご自身の判断でお薬の服用を中止したり、量を増やしたり、減らしたりしないでください。気になることは、医師に相談しましょう。

ほかに服用しているお薬などがある場合

エキスコプリの服用によって、現在服用中の抗てんかん発作薬やてんかん以外の病気のお薬の調整が必要になる場合があります。服用中のお薬を医師、薬剤師、または看護師に伝えてください。

〈 一緒に服用するときに注意するお薬などの例 〉

- 抗てんかん発作薬
  （カルバマゼピン、フェニトイン、フェノバルビタール、クロバザム、ラモトリギン、ミダゾラム、ジアゼパム　など）
- 睡眠薬（トリアゾラム）
- 胃酸をおさえる薬（オメプラゾール、ランソプラゾール）
- HIV治療薬（エファビレンツ）
- 経口避妊薬
- QT短縮作用のある薬（ペフィシチニブ臭化水素酸塩、ルフィナミド　など）
- アルコール（飲酒）



妊娠や授乳について

妊娠する可能性がある女性の患者さんは、服用中と、最後に服用してから14日間は、適切な避妊を行って妊娠を避けてください。

お薬を飲んでいる間は、授乳を避けてください。

なお、妊娠をしている、または今後妊娠を考えている患者さんは、必ず医師に相談してください。

エキスコプリ服用中の注意点

特に注意していただきたいこと

エキスコプリの服用によって、肝機能障害があらわれることがあります

食欲がない、吐き気、全身がだるい、腹痛、下痢、発熱、尿の色が濃くなる、白目が黄色くなる、などの症状がみられた場合は、すぐに医師に相談してください。

混乱したり、イライラしたりするなど精神的な症状があらわれることがあります

このような症状から、この世から消えてしまいたい気持ちになる可能性もあるため、治療中は気分の変化に注意して、変化を感じたら放置せずにすぐに相談してください。
また、ご本人の訴えがなくとも、ご家族や周囲の方は患者さんの状態の変化に注意して、気づいたことがあれば、すぐに医師に相談してください。

眠気、めまい、ものが二重に見える、目のかすみ、バランスが取りづらい、うまく歩けないなどの症状があらわれることがあります

お薬を飲んでいる間は、転倒に注意してください。また、安全のため、車の運転や危険をともなう機械の操作は行わないようにしてください。

エキスコプリの急な減量や中止によっててんかん発作が悪化することがあります

お薬をやめるときは、医師と相談しながら慎重に少しずつ量を減らす必要があるので、必ず医師に相談してください。

エキスコプリの副作用

特に注意が必要な副作用

エキスコプリの服用によって薬剤性過敏症症候群の症状があらわれることがあります

- 皮ふの広い範囲が赤くなる

- 高熱（38℃以上）

- のどの痛み

- 全身がだるい

- 食欲が出ない

- リンパ節がはれる

こうした症状がみられ、その症状が持続したり、急激に悪くなったりするような場合、放置せずに、ただちに医師、薬剤師または看護師に連絡してください。

エキスコプリの服用によって、肝機能障害があらわれることがあります

- 食欲がない
- 吐き気
- 全身がだるい
- 腹痛
- 下痢
- 発熱
- 尿の色が濃くなる
- 白目が黄色くなる

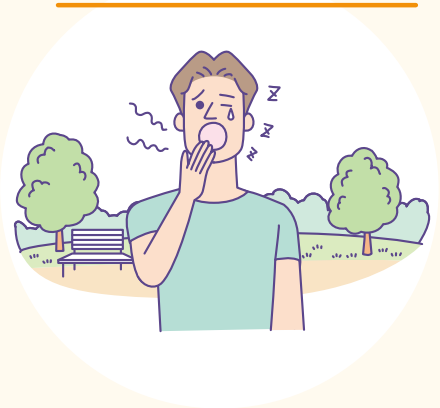
- このような症状がみられた場合は、ただちに医師、薬剤師または看護師に相談しましょう。

エキスコプリの副作用（つづき）

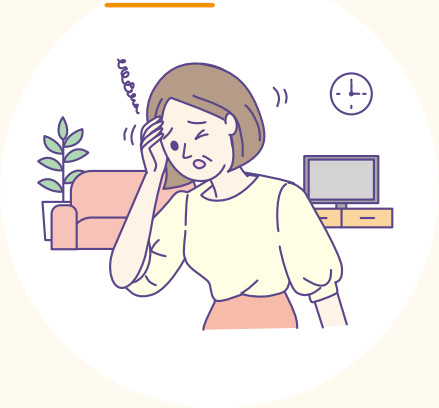
注意が必要な副作用

エキスコプリによる治療中は以下のような副作用があらわれることがあります。

眠気、すぐ眠ってしまう



めまい



ものが二重に見える（複視）、かすんで見える（霧視）

物事が思い出せない・覚えられない、注意力が散漫になる、言葉が理解しにくいなど

疲労

- このほかにも気になる症状がある場合、心や体の状態に変化を感じた場合にはすぐに医師、薬剤師または看護師に相談しましょう。